



議会だより



(烏帽子岳頂上からの野辺地町)



野辺地町
ホームページ
QRコード

6月定例会で決まったもの（議案審議）	2～3
一般質問（4議員が登壇）	4～7
5月臨時会	8
委員会レポート	9
全員協議会	10



第4回 6月定例会

令和3年第4回6月定例会が、6月16日から18日までの3日間の会期で開かれました。

16日の冒頭、6月9日付けで提出された熊谷議長の議長辞職願の許可について審議し、不許可となりました。

今回は、補正予算3件、条例の制定1件、条例の一部改正3件、人事案件1件、その他4件が提出されました。審議の結果、全て原案どおり可決されました。

新型コロナウイルス感染症対応に係る経費に 一般会計補正予算 1億4566万円

▼令和3年度一般会計補正予算(第2号)

一般会計予算は、

歳入・歳出それぞれ2億6500万円を追加し、補正後の予算総額は68億2500万円となりました。

▽主な歳入(収入)補正予算

新型コロナウイルスに対応するための事業費分として、国庫支出金に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億3482万円余りを追加したほか、事業の変更や国・県からの交付決定による増減調整をしました。

▽主な歳出(支出)補正予算

子育て世帯や高齢者の生活支援のための商品券給付事業6500万円、地域活性化を目的としたプレミアム商品券発行事業2350万円などの新型コロナウイルス感染症対策経費などを追加しました。



▼令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

介護保険事業特別会計予算は、歳入・歳出それぞれ478万円余りを減額し、補正後の予算総額は17億5804万円余りとなりました。

主な歳出(支出)は、人事異動に伴う給与費等の減額のほか、介護保険システム改修費209万円、介護予防施設の



▼令和3年度水道事業特別会計補正予算(第1号)

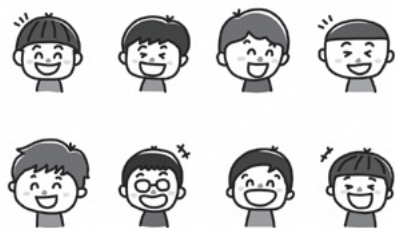
運営費の給付費250万円を追加しました。

水道事業特別会計予算は、収益的収入・支出それぞれ500万円を追加し、2億7100万円となりました。

資本的収入・支出では、支出の既決予定額に建設改良費204万円余りを追加し、1億7374万円余りとなりました。



区 分	補正額 ⇒ 予算総額
一般会計	2億6500万円 ⇒ 68億2500万円
介護保険事業特別会計	△478万5千円 ⇒ 17億5804万2千円
水道事業特別会計	収益的収入及び支出 500万円 ⇒ 2億7100万円 資本的支出 204万6千円 ⇒ 1億7374万6千円



▼子ども・子育て会議条例の制定

子ども・子育て支援法の規定に基づき、子ども・子育て会議を新たに設置するための条例。

「子ども・子育て会議」とは・・・
地域における子ども・子育て支援について審議する場

▼個人情報保護条例等の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う一部改正。

▼国民健康保険税条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免期間を延長するための一部改正。

▼介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる被保険者に係る介護保険料の減免措置の期間延長等のための一部改正。

▼財産の取得

▽スクールバス1台

【取得価格】

1089万円

【契約の相手】

港湾自動車工業(株)

▽消防ポンプ自動車1台

【取得価格】

2959万円

【契約の相手】

(有)青森消防設備



▼人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、引き続き前田智子氏を適任としました。

審議した議案の結果

議 案 名			採 決
令和3年度 補正予算	野辺地町一般会計補正予算（第2号）	可否同数により議長裁決による可決 （賛成5名）江渡議員、岡山議員、高沢議員、戸澤議員、大湊議員 （反対5名）高田議員、中谷議員、古林議員、野坂議員、赤垣議員	全員賛成可決
	野辺地町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		
	野辺地町水道事業特別会計補正予算（第1号）		
条例制定	野辺地町子ども・子育て会議条例		
条例改正	野辺地町個人情報保護条例等の一部を改正する条例		
	野辺地町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		
	野辺地町介護保険条例の一部を改正する条例		
その他	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更		
	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更		
	財産の取得（スクールバス）		
	財産の取得（消防ポンプ自動車（CD-1型））		
人 事	人権擁護委員候補者の推薦		適 任



江渡 正樹議員

ペットの管理責任と動物介在療法は

関係団体が行う普及活動に

協力していきたい（町長）

問 環境省では、災害時におけるペットの救護対策についてガイドラインがあるが、体制及び関係機関との連携は整備されているのか。

町長 町では、県と県獣医師会との間で交わされた「災害時における動物救護活動に関する協定」に基づき、ペットの同行避難場所を確保した上で、県に対し県獣医師会への派遣要請を依頼します。また、町では平時より狂犬病予防法に基づき飼育犬の登録、鑑札の装着及び予防注射を徹底させ、避難所及び仮設住宅における被災動物の飼育方法を決定するなどの対策を行っていくこととしております。

問 ペットの管理責任のためにマイクロチップの普及とアニマルセラピー等動物介在療法の啓発について、どう考えるか。

町長 改正動物愛護法が成立したことで、令和4年6月からペットショップなどで販売される犬・猫へのマイクロチップ装着が義務化となります。努力義務となる一般の飼い主へは町ホームページや広報、予防接種時のパンフレット配布等で周知します。動物介在療法の啓発については、町内医療機関などの検討状況を見ながら、獣医師会、県動物愛護センター等関係団体が行う普及活動に協力してまいります。

問 生理の貧困は、新型コロナウイルス感染症による生活の困窮と生理に対する理解不足によるものと思う。生活必需品としてトイレに生理用品がないことは世界的に問題化されているが、どのように考えるか。

町長 生活困窮者の増加と生理に対する理解不足という複合的な原因だと推察しています。町の対応として、一部公設のトイレへ生理用品を設置しています。学校教育においては、生命教育の一環として性教育を実施しており、理解は徐々に浸透していると考えております。

小学校統廃合による閉校記念誌は

閉校しても心に刻む記念誌に（教育長）

問 先行統合により馬門小学校が閉校予定となっているが、馬門の地名の由来について、大学等へ調査を依頼し、解説等も含め、閉校記念誌に付記しては。

教育長 閉校しても地域の学校であることを心に刻む記念誌を作成したいと考えております。そこには、馬門小学校の歴史や関係する方々の思い出、馬門の地名の由来も載せたいです。今後、準備委員会で記念誌への掲載方法等を検討してまいります。



確実な情報伝達手段の検討は

機器の更新を行った上で検討する（町長）



赤垣 義憲議員

問 町民から「防災行政無線が聞こえない」という苦情等の声を聞く。確実な情報伝達手段について、対策を検討しているのか。

町長 町では、要件に当てはまる場合に無償で個別受信機を貸し出すほか、防災行政無線を無料で聴ける電話番号を設けています。

役場新庁舎建設に合わせて、防災行政無線の機器の更新を行い、状況を見ながら、防災行政無線と連動するスマートフォンアプリやタブレットを用いた情報伝達手段の導入を検討してまいります。

防災行政無線
（広報無線）
最大5件前まで
☎0800-800-9959
（無料）

財政安定への対策や想定する効果は

地方交付税の増額と経常経費の削減に取り組む（町長）

問 庁舎建設と小学校建設の公債費が増加するピーク時の令和9年度以降は財政が更にひっ迫した状態になることが予想される。

これに対し、町が行う財政安定に向けた具体的な対策や想定する効果は。

町長 地方交付税算入分と、町民の皆様に御協力いただいている原子力立地給付金の減額相当分を積み立てた庁舎建設基金を、新庁舎建設の財源として充てることにしております。そのため、その他の事業に充てる一般財源等が目減りすることなく、新庁舎建設や小学校統合事業を進めることができます。



財政安定化に向けて、交付税算入率が高い地方債が活用できるような各種計画作成の準備を進めるなど、地方交付税の増額に取り組んでいます。

また、経常収支比率の改善のために、昨年度からプロジェクトチームを中心として経常経費の引下げにも取り組んでいます。

問 新庁舎建設計画については、新しい建物でなくても利用満足度を高めることや、出費を抑えるために、現在所有している他の建物を再利用する方法もあるが、再検討しては。

町長 昭和29年に建設された現庁舎を抜本的に改修する方法、閉校した学校を庁舎の用途に合わせ改修する方法等が検討されましたが、いずれも費用対効果や町民の皆様へのサービスの提供等を総合的に検討した結果、新庁舎を建設することで進めております。

今後も引き続き計画的かつ着実に新庁舎建設事業を進めてまいります。



中谷 謙一議員

新庁舎建設における経費の縮減は 基本構想の全体事業費内に収める（町長）

問 建設計画当初に示された事業プランと比較して2億円程度も高額になるプランで進めるメリットは。

現時点で新庁舎建設事業プランを変更するとして、同じ床面積で2階建ての庁舎と、100台の駐車場で1億円以上も事業費を少なく抑えられるプランがあるが、財政面の検討は。

町長 新町地区の取得済み土地を活用した前計画の事業費は平成31年度単価であり、既に2年が経過し、当時より人件費、材料費及び諸経費が上昇しており、当時の事業費で建設することが困難です。

公債費の償還の一部に地方交付税算入が受けられる市町村

役場機能緊急保全事業を活用する方針として、町の負担を減らすよう努めており、設計を進める際に、要所で事業費を圧縮する努力を続けております。

問 新庁舎は3階建てだが、2階建てとのメリットの比較をしてきたのか。住民サービスが十分に行えるのか。

町長 建物だけではなく、敷地計画も一体で検討する必要があります。皆様からの意見や要望を可能な限り取り入れ、建物の平面計画、配置計画を比較検討し、3階建ての基本設計を完成しています。

問 基本構想での建設予定地の購入ができなくなったことによる、基本構想の見直しは必要なかったのか。

町長 現有の庁舎敷地と取得地を合わせた用地全体を見たときに、建物及びその配置計画等を工夫することで建設可能であると判断しました。

問 事業内容がたびたび変更になっていく。町民に対しての説明が必要では。新庁舎検討委員会の委員に対し、基本構想と基本設計での変更に関して相談、承認はあるのか。基本構想と基本設計ではどこが違うのか。

町長 委員会から基本構想案の答申をいただいた時との大きな変更点は、建設予定地の面積部分になります。

その点については、令和2年度に開催された委員会において説明し、プロポーザル案をベースに検討が進められ、基本設計に対する要望事項が付された答申をいただいたところです。

問 経費縮減について、具体的にどのようになっているのか。

町長 設計業者から「敷地内での居ながら工事」や、「限られた工事エリア内で長期間にわたり、庁舎利用者の安全確保及び円滑に工事を進める」という視点

から一括発注の提案を受けて協議しているほか、可能な限り基本構想の全体事業費内に収めるよう指示しています。

問 「歴史こみち」上に駐車させる設計だが、安全上問題ないか。

町長 基本的に一般車両の駐車は想定しておりません。冬期間の除排雪や災害時、駐車場混雑時などに一時的に使用可能なスペースとして考えております。



住民及び職員の満足度の把握は

町民アンケート調査は
必要性も含めて検討する（町長）



大湊 敏行議員

問 行政による公共サービスの最終目的は「住民満足」であると言われている。町民アンケートを行い、町民のニーズを把握し、今後の施策に反映させてみては。

職員の満足度向上が町民の満足度向上につながると思われる。職員の仕事に対する満足度調査をされてみては。

町長 今年3月に「第6次野辺地町まちづくり総合計画」を策定した際に、町への愛着度や今後の定住意向をはじめ、町の各環境に関する満足度・重要度、今後のまちづくりの特色など、町民のニーズを把握する調査を実施し、基礎資料としました。現在、町が計画している事業

は、その実施年度の精査を行っている段階です。町民ニーズの把握に関するアンケート調査は、今後、時期をみて、その必要性も含めて検討してまいります。

職員満足度の把握については、職員配置の参考とするため、毎年、職員に対して人事異動希望調査を行っており、項目の一つに職務に対する満足度を設けております。この調査は、町民の満足度の向上とは直接的な結びつきはありませんが、いかに職員のモチベーションの維持、向上をさせるかが重要です。

その一方で、町民と信頼関係を築くことも重要です。職員に対し、公務員は全体の奉仕者であると

プロ意識をもつよう指導しておりますが、こうした取組が町民の満足度向上につながるものと考えております。

これからの学校教育のあり方は

授業の中身を充実させ
知的に楽しい授業を（教育長）

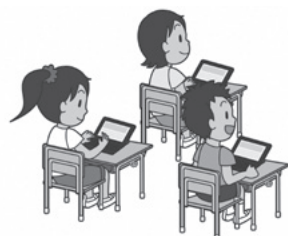
問 コロナ禍における「新しい学びの様式」として、対面授業にICT・オンラインを組み合わせ、子どもの個に応じた学習や思考の共有を容易にし、異なる時間や場所での学習を進めるという取組についてはどう考えるか。

教育長 パソコンは便利な道具であり、使い方によって、場所や時間を選ばず、自分の興味のあることを自分で調べることができ、個に応じた学習ができます。

そのような便利な道具を自由自在に使える子どもにするためには、まず先生方がパソコンに精通する必要があります。一方で、子どもひとり、パソコンを学

ぶには限界があり、深く学ぶには先生の援助が必要であり、先生方のパソコンの使い方の研修と同時に、授業の研修にも取り組んでいきたいと考えております。

今後の予定として、ICT教育を進めるにあたり、教職員を対象にタブレット端末等の活用方法について研修を行うこととしております。研修を重ねることと先生方のスキルアップにつながり、学力向上につながる活用方法を見出してくれることを期待しています。





第3回 5月臨時会

令和3年第3回5月臨時会が、5月13日に開催されました。

冒頭に、4月30日付けで提出された熊谷議長の議長辞職願の許可について審議し、不許可となりました。

今回は、報告案件4件があり、承認案件3件を承認しました。また、常任委員等の選任が行われ、委員の構成が変わりました。

▼町税条例等の一部を改正する条例

承認

地方税法等の一部を改正する法律等が令和3年3月31日に公布されることに伴う一部改正。

▼半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例等の一部を改正する条例

承認

離島振興法第20条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部を改正する省令の施行に伴う一部改正。

▼令和3年度一般会計補正予算(第1号)

承認

既定の予算総額64億7500万円に歳入歳出それぞれ8500万円を追加し、予算総額が65億6000万円となりました。

主に、新型コロナウイルス感染症に係る予算で、町の体制確保や医療機関への接種業務の委託を行います。



総務常任委員会



議会運営委員会



広報委員会



建設産業保健衛生常任委員会

常任委員会等の構成は次のとおりです。なお、任期は令和5年4月30日までです。

◆議会運営委員会

委員長 高田光雄
副委員長 戸澤 栄
委員 古林輝信

◆総務常任委員会

委員長 高沢陽子
副委員長 大湊敏行
委員 江渡正樹
中谷謙一

◆建設産業保健衛生常任委員会

委員長 岡山義廣
副委員長 野坂 充
委員 高田光雄
古林輝信
杉山福行
戸澤 栄

◆広報委員会

委員長 大湊敏行
副委員長 高沢陽子
委員 江渡正樹
中谷謙一
野坂 充
赤垣義憲

総務常任委員会

— 所管に属する事務調査 —

5月18日に開催され、所管に属する事務調査を行いました。

◆学校教育課

- ・小中学校へのエアコン整備状況
- ・スクールバスの更新
- ・学校給食共同調理場蒸気ボイラーの更新

◆社会教育・スポーツ課

- ・東京2020パラリンピック聖火採火式等開催事業について、採火式を8月15日に柴崎地区健康レクリエーション施設で公募による観客30名を集客し実施。

◆地域戦略課

- ・野辺地町過疎地域持続的発展計画の策定
- ・野辺地柴崎風力発電事業
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

◆総務課

- ・赤ちゃん応援特別定額給付金の給付実績
- ・ふるさと納税

委員会は、6月10日に「学校給食調理場の調理場及び蒸気ボイラー」「柴崎地区レクリエーション施設内の採火式場及び風力発電事業建設場所」「野辺地中学校のエアコン機器設置工事現場」の視察及び給食の試食を実施しました。

建設産業保健衛生常任委員会

— 所管に属する事務調査 —

5月20日に開催され、所管に属する事務調査を行いました。

◆建設水道課

- ・今後の主な発注予定
- ・野辺地水道事業経営戦略の策定

◆農林水産課

- ・令和3年度事務事業

◆地域戦略課

- ・当面の観光事業
- ・野辺地町過疎地域持続的発展計画の策定
- ・野辺地柴崎風力発電事業

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

委員からの要望

「新型コロナウイルス感染症対策事業として飲食店に対する支援策を実施してほしい。」

◆健康づくり課

- ・新型コロナウイルスワクチン予防接種事業の進捗状況

委員からの質問

「野辺地町で余ったワクチンを廃棄した事例はないか。」

町の回答

「現時点ではありません。」

新庁舎建設に係る特別委員会

— 新庁舎建設に向けて継続審議 —

3月2日に開催され、配置・平面図及びパースについて設計業者より、新庁舎面積の比較表について所管課より説明がありました。

委員会は、継続審議することにしました。



新庁舎パース図

議会基本条例検証等特別委員会

— 目的が達成されたため調査終了 —

本委員会は、議会基本条例の検証及び評価等を行うため、令和元年6月14日に設置しました。

令和元年10月に「議会基本条例の基本的考え方」を改訂し、令和元年12月定例会において議会の活動原則に関する規定を明確にするなど所要の改正を理由に議会基本条例の一部改正を行いました。

委員会では、今後の議会運営にとって重要な事項について調査できたものと考え、5月13日をもって調査を終了しました。

全 員 協 議 会

6月25日に開催し、次の2件について協議しました。

【協議案件】

◆野辺地町立小学校統廃合について（学校教育課）

町民の意見・要望、関係機関との協議により町立小学校統廃合基本計画（案）の見直しを検討するとの説明を受けました。

○馬門小学校の先行統合

（現計画案）複式学級の早期解消を図るため、令和5年4月に野辺地小学校に統合する。



（見直し案）複式学級の早期解消を図るため、令和5年4月に若葉小学校に統合する。



○若葉小学校の統合

（現計画案）現在の野辺地小学校の敷地内に校舎を新設し、令和7年4月に若葉小学校を野辺地小学校に統合する。



（見直し案）若葉小学校の野辺地小学校への統合及び新校舎の建設については、国の公立学校施設整備費負担金事業の認定に向けた協議・調整等を進めながら供用開始時期を設定する。

◆会議録の町ホームページ上での公開について（議会事務局）

議会活動の透明性向上の観点から、会議録を住民が閲覧しやすい環境に置くことが重要であると考え、取り組むこととする。

ご意見をお聞かせください！

広報委員会では、町民の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の議会だよりの編集に反映して、読みやすい紙面づくりを目指しています。ぜひ、ご意見ご要望を議会事務局までお寄せください。

9月定例会の予定

9月6日（月）
開会、提案理由説明、委員会報告等
9月7日（火）
一般質問
9月8日（水）～10日（金）
決算議案等審議、閉会

いずれも9時30分開会予定です。
日程は変更になる場合があります。
傍聴の際は、マスクの着用等感染症対策にご協力をお願いします。

議会の動き

20日	19日	18日	13日	7日	20日	9日	6日
常任委員会	建設産業保健衛生 祈願祭	電所建設工事安全 野辺地柴崎風力発	証等特別委員会 総務常任委員会	議会基本条例検 臨時会	議会運営委員会	広報委員会 連絡協議会総会	広報委員会 下北半島振興促進
				5月			4月
25日	18日	17日	16日	10日	9日	3日	
広報委員会	全員協議会 （議案審議）	定例会3日目 （一般質問）	定例会2日目 （委員会報告）	定例会初日 （提案理由）	現地視察	総務常任委員会	議会運営委員会 会臨時総会 県町村議会議長
							6月

編集後記

新メンバーとなって、初めての「議会だよりの」です。多くの町民の皆様に「議会だよりの」を手にとっていただけたら、紙面を一新いたしました。今後また皆さんのご意見をいただきながら、「読んでもらえる議会だよりの」を目指していきたいと思ひます。（大湊）

広報委員会

委員長
副委員長
委員

大湊 敏行
高沢 陽子
江渡 正樹
中谷 謙一
野坂 義充
赤垣 義憲

のへじ議会だよりに表紙写真をお寄せください

町の魅力いっぱいの写真をお待ちしています。写真（jpgデータ）のほか、お名前と写真の題名もお知らせください。

野辺地町議会事務局
電話 0175-64-2111（代表）
メール gikai@town.noheji.lg.jp